

千田学区まちづくり推進委員会

委員長 弓井 英志

(問合せ先) 084-955-0023 (千田交流館)

事業内容

- (1) 三世代ふれあい教室（12月7日）参加者：45人
- (2) 安全なまちづくり(防災・子どもの居場所づくり)
自主防災訓練（12月8日）防災講演会開催 参加者：140人
演題「いのちを守る気象情報にするために」講師：勝丸恭子（気象予報士・防災士）
ふれあい教室（通年36回）
夏休み子ども教室（6回）・おもちゃサロン（月1回）・子ども文庫（月2回）など
防犯・見守り活動（通年）
下校時の子ども見守り活動・子ども110番の家・防犯夜間見せるパトロール活動
- (3) ふるさと盆踊り大会（8月3日）参加者：約3,000人
- (4) 学区民スポーツ祭（10月27日）参加者：約1,200人
- (5) ふれあい文化祭・千田学区敬老会 合同開催（11月10日）参加者：約1,500人
- (6) とんど祭り（1月13日）参加者：約1,100人
- (7) 農業体験（通年） 千田小・せんだの森(認定こども園)と農園ボランティアによる稲作・野菜作り
- (8) 千塚おどり（通年）次世代への伝承活動(千田小4年生・盈進学園応援部への指導など)
- (9) 環境美化活動 学区一斉清掃（年2回）、河川美化活動、ごみ減量化活動（通年）など
- (10) 健康・生きがいづくり
健康講演会（12月1日）演題「健康寿命を延ばすために気を付けたいこと」
講師：富永知（富永内科医院）
ふれあい楽習・料理教室（男の料理教室、健康料理教室、食推料理教室）など通年33回
- (11) コミュニティ育成活動（通年）
- (12) まちづくり運営事業（通年）

成果

ふるさと盆踊り大会・学区民スポーツ祭など、各町内会が主体的に参加する意識が高まり、賑わいを生むための工夫が生まれた。各行事へのキッチンカー導入など、役員の負担を軽減することができた。子供向けの講座の募集にオンライン予約を取り入れ、若い世代の保護者に好評だった。

課題

町内会未加入世帯の増加や高齢化などで、地域コミュニティ活動の維持・継続が難しくなっている。若い世代への情報発信、役員の負担軽減のためのデジタル化を進めることが課題となっている。

課題解決にむけて

各事業にかかわる役員の負担軽減につながる新しい連絡手段として、また、若い世代を含む幅広い地域住民への情報発信のため、SNSでの広報活動などを取り入れていきたい。

こどもたちへ、地域の伝統文化「千塚おどり」の継承を！

千田学区名物 千塚おどりの伝承活動を、がんばっています！

せんだふれあい文化祭 盈進学園応援部と共演



千塚おどりのはじまり… 千田を含め神辺平野一帯は、かつて「備後緋」の生産地として全国に名をはせました。

大正時代末に、群馬県から染め抜き職人として指導に来ていた人によって、同じ会社で働いていた千田村の青年たちに「群馬八木節」が教えられました。

その後、千田を唄いこんだ音頭と、花笠、日傘を回しながらの華やかな踊りに工夫され「千塚おどり」として踊られるようになりました。



千田村から3～4人が、群馬県に招かれて指導していただいた時の貴重な写真

地域の郷土芸能として…

1956年（昭和31年）深安郡千田村が福山市に合併する時に「地元には郷土芸能が有ってもいいんじゃないか」と青年団や婦人会に「千塚おどり」が伝えられました。



オート三輪の上で音頭をとる青年団と、花笠の婦人会のみなさん
当時、法被は神辺の酒屋 ミノツルや天寶一で借りていました。

活動が盛り上がった1970年代～80年代

戦時中は一時途絶えていましたが、青年団や婦人会が中心となり再興させ学区の郷土芸能として盛り上がりを見せました。

その後、青年団・婦人会活動の衰退により途絶えそうになりましたが、1973年（昭和48年）より、子ども会の活動として踊り継がれました。



1981年（昭和56年）福山ばら祭り まつり広場にて

1975年（昭和50年）
福山ばら祭り



存続の危機に「千塚おどり保存会」発足！

踊り手の高齢化、子ども会加入者の減少などで存続が危ぶまれるなか、1996年（平成8年）「ふれあい桜まつり」を機に、今後の継承活動を目指し「千塚おどり保存準備会」を立ち上げました。

2015年（平成27年）ふれあい桜まつり



「千塚おどり保存準備会」メンバー



その後、2000年（平成12年）に「千塚おどり保存会」が発足し、郷土芸能継承活動をしています。

様々な子どもたちへの伝承活動…2023年（令和5年）より、千田小4年生が地域の伝統文化として「千塚おどり」を学習し「運動会」で披露しています。



2024年(令和6年) 交流館夏休みこども教室で小学生を対象に「千塚おどりを踊ろう」を開催しました。



千塚おどりの



歴史と踊りを学習した児童は、学区盆踊り大会で練習成果を披露しました。

2023年(令和5年)より「盈進学園応援部」が「地域の伝統を受け継ぎたい」と千塚おどりを学習しました。その後、「教えていただいた地域の方に感謝を伝えたい」と、盈進学園感謝祭、学区盆踊り大会、学区ふれあい文化祭で「保存会」と一緒に踊りを披露しています。子どもたちとの共演に、保存会メンバーも活気づいています！



2023年(令和5) 盈進学園感謝祭 盈進学園応援部と共演

